

# オシドリ観察小屋リニューアルオープン!



▲のぞき窓からオシドリが観察できます



ログハウス風の新しいオシドリ観察小屋

長年町内外の皆さんから親しまれ、今年3月、惜しまれながら幕を閉じた旧オシドリ観察小屋。その旧観察小屋に代わる新しいオシドリ観察小屋が完成し、10月26日、竣工式が行われました。

町内を流れる日野川には、多いときでは約1000羽ものオシドリが飛来し、毎年多くのファンが観察に訪れます。新しい観

察小屋は、森林環境譲与税やクラウドファンディングを財源として、川沿いに面した日野高校グラウンドの一角に建てられました。県産のスギやヒノキを使用したログハウス風の外観。内装は、壁に円形のものぞき窓があり、そこから望遠鏡や双眼鏡、肉眼でオシドリを観察することができます。

当日は、関係者22人が出席。埴田町長は「さまざまな協力や寄付をいただきました。オシドリは日野町の誇り。人と人との交流がさらに活発になることを期待します」とあいさつし、オシドリグループの森田順子さん（根雨）は、「新しいこの小屋が、子どもたちのふるさと教育の拠点や、癒しの場となれば」と、期待を寄せました。



【場 所】鳥取県日野郡日野町根雨 310 番地  
(日野川沿い)

【開館日】11月1日から3月31日(期間中無休)

【開館時間】午前7時から午後5時まで

【入館料】一般300円(18歳以下無料)

※15名以上の団体は150円。年間パスポートあり

【観察のポイント】

朝方(夜明けから午前9時ごろ)と夕方(午後3時ごろから日暮れ)が間近に観察できる時間帯です。  
※写真撮影は可能ですが、フラッシュは使用しないでください。

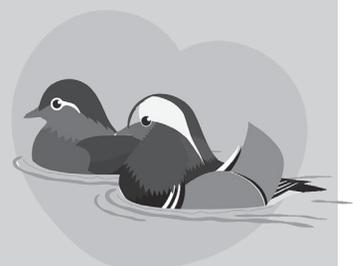
※天候や天敵襲来等により、オシドリがいないこともありますのでご了承ください。

※日野高校からは進入できません。

## オシドリサポーターを募集しています!

11月1日、オシドリ観察小屋がリニューアルオープンしました。町では、野鳥等の観察を通じ、自然保護思想の高揚を図るとともに、観光・交流の場として、関係人口の増加と地域経済の活性化を図ることとしています。

また町では、オシドリ観察小屋の運営などに協力いただく「日野町オシドリサポーター」を、町民の皆さんから募集しています。なお、オシドリサポーターは、無料でオシドリ観察小屋を使用いただけます。募集要項や申請書は、役場産業振興課およびオシドリ観察小屋に準備しています。詳細は、町ホームページに掲載しますのでご覧ください。





植樹を通して森林の大切さを  
知るために  
第66回鳥取県植樹祭

「雲海と 緑はぐくむ おしどりの里」をテーマにした第66回鳥取県植樹祭(鳥取県、日野町、県緑化推進委員会主催)が、10月22日、滝山公園で開催されました。

植樹活動を通して、森林の役割や大切さ、緑を未来に引き継ぐことを目的に行われ、当日は行政関係者や日野郡4小学校のみどりの少年団など、約250人が参加しました。

式典では、鳥取県美しいもりづくり功労者の表彰が行われたほか、根雨小学校の児童が「森林・みどりへの想い」を発表。「日野町の森林をこれからも大切にしていきたい



▲記念植樹に参加した関係者や児童たち  
▼ミツバツツジなどを植樹する参加者

▲根雨小学校(左)と黒坂小学校(右)のみどりの少年団



▲「大きくなってね!」植樹する児童たち

いです」と、決意を述べました。

また、みどりの少年団が育てたミツバツツジの苗木を代表者らが記念植樹。その後、会場近くの広場で、参加者たちがミツバツツジやソメイヨシノ、エドヒガンを計90本植樹しました。すくすくと育っていくよう願いを込めて植えられた苗木たち。晴れ渡った青空のもと、元気いっぱい陽の光を浴びていました。

その他、黒坂小学校児童による傘踊りや町民ミュージカルによる町民歌、日野高校郷土芸能部による荒神神楽など、盛りだくさんの一日となりました。

10月8日、菅福社会体育館で、小さな花火大会が行われました。3年ぶりに行われたイベント。地域を少しでも元気づけようと、菅福小さな拠点高宮の郷企画運営委員会が企画し、手作りの花火大会が開催されました。

当日は、菅福地区をはじめ町内外から花火を見ようとする約50人が参加。会場では「焼きそば」や「焼きいも」が好評! 大体懐かしい音色が響きわたりました。きいも」が振舞われ、参加した人たちからは「寒くても体があったまる」といった声も。体育館内では、昭和歌謡など懐かしい音楽がレコードから流れ、訪れた人は皆耳を傾けていました。

▲焼きそばや焼きいも、はぶ茶が好評! 大体懐かしい音色が響きわたりました



昔懐かしいメロディとともに  
菅福小さな花火大会